

FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700

オペレーティングマニュアル

C120-0089-03

はじめに

このオペレーティングマニュアルには、FX700本体装置の設置方法、セットアップ方法、操作方法が記載 されています。

このオペレーティングマニュアルの対象読者は、ハードウェアを設置して、システムをスムーズに動作させる作業を担当している方々です。ご購入いただきましたFX700本体装置を動作させるために必要なすべての情報が記載されています。

さまざまな拡張オプションを理解するには、ハードウェア分野およびデータ伝送分野に精通している必要 があり、根幹であるOSの基礎知識が必要です。

本書の構成と内容

本書は、以下の章から構成されています。

第1章 製品の説明 FX700本体装置の概要と情報を説明しています。 第2章 注意事項 FX700を正しく安全に使用するための注意事項を記載しています。 第3章 起動 FX700本体装置の設置から起動までを説明しています。 第4章 操作 FX700本体装置の操作について説明しています。 第5章 トラブル時の情報採取 トラブル時に採取するログについて説明しています。 第6章 技術仕様 FX700本体装置、シャーシ、ブレード、PSU、およびFANUの仕様を説明しています。 付録 A BMCドライバのメッセージ BMCドライバのメッセージを示しています。 付録 B CPU-MEM-RASドライバのメッセージ CPU-MEM-RASドライバのメッセージを示しています。

警告/重要表示について

このマニュアルでは以下の表示を使用して、使用者や周囲の方の身体や財産に損害を与えないための警告や使用者にとって価値のある重要な情報を示しています。

<u>∧警告</u>

「警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ること(潜在的 な危険状態)を示しています。

∧注意

「注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、 当該製品自身またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

本文中の警告表示の仕方

警告レベルの記号の後ろに警告文が続きます。警告文は、通常の記述と区別するため、行端を変えていま す。さらに、通常の記述行からは、前後1行ずつ空けています。

改版記録表

版数	日付	変更箇所(変更種別)(*1)	変更内容
01	2020-02-27	-	新規作成
02	2020-03-17	はじめに 2章 3章	「安全・電波・電源高調波(欧州)」を追加 「規制」に「CE準拠」を追加 「2.5 環境情報」の追加 表現の変更
03	2020-06-25	1章 3章 5章	「1.1 FX700本体装置の概要」の更新 「3.17.1 OSのインストール手順」および「3.17.2 OSドライバ のインストール手順」の更新 「5.4.5 Web GUI使用上の注意事項」の追加 「6.1 FX700本体装置の仕様」の更新

1: 変更箇所は最新版の項番を示している。ただし、アスタリスク()の付いている項番は、旧版の項番を示す。

以下の項目について説明します。

- 安全な使用のために
- 各国の法規制準拠
- 規制
- マニュアル体系
- 表記上の規則
- 警告ラベル

安全な使用のために

このマニュアルの取扱いについて

このマニュアルには、当製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。当製品を 使用する前に、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 オペレーティングマニュアル』 (C120-0089)、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 はじめにお読みください』(C120-0093)、 『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 安全にご使用いただくために』(C120-0092)、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 アップグレード&メンテナンスマニュアル』(C120-0090)を熟読してください。特 にそれぞれのマニュアルに記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解したうえで当製品を使 用してください。

このマニュアルは大切に保管してください。

富士通は、使用者および周囲の方の身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、マニュアルの説明に従ってください。

当製品について

当製品は、一般事務用、パーソナル用、通常の産業用などの一般的用途を想定して設計・製造されている ものです。原子力核制御、航空機、飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制 御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する 重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたもの ではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置をほどこすことなく、 当製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社担当営業までご相談くだ さい。

各国の法規制準拠

FX700システムは以下の法規制に準拠しています。

北米

安全・電波・電源高調波(北米)

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
UL	ANSI/UL 60950-1, 2 nd Ed., 2014-10-14	1		
FCC	FCC Part-15 Subpart-B (2019)		1	
CSA	CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1-07, 2 nd Ed., 2014-10	1		
ICES	ICES-003 Issue6 (2017)		1	

環境物質(北米)

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
臭素系難燃剤規制(米国メイン州、ワシントン州、オレゴン州、バーモント州)		1	
過塩素酸化合物の環境への排出を抑制する法律(カリフォルニア州)		1	
プロポジション65(カリフォルニア州)		1	
特定有害物質禁止法規(SOR/2012-285)		1	

輸出関連(北米)

規格番号
IATA 危険物規則書第58版(2017年版)
(リチウム/リチウムイオン電池/電気二重層キャパシタの輸送規制)
外国為替及び外国貿易法
北米関税規制(NAFTA)
FIPS 140 (Federal Information Processing Standardization 140)
暗号モジュールに関するセキュリティ要件の仕様を規定する米国連邦標準規格
NIST SP800-171 (米国セキュリティ基準)
貿易調整支援(Trade Adjustment Assistance:TAA)

欧州

安全・電波・電源高調波(欧州)

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
EN, IEC	IEC 60950-1:2005 (2 nd Ed.) ; Am1:2009+Am2:2013 EN 60950-1:2006 +A11:2009 +A1:2010+A12:2011+A2: 2013	1		
	EN62479 (2010) EN55035 (2017) EN55032 (2012); Class A EN55024 (2010) EN61000-4-2 (2009) EN61000-4-3 (2006),+A1, +A2 EN61000-4-4 (2012) EN61000-4-5 (2014),+A1 EN61000-4-6 (2014) EN61000-4-8 (2010) EN61000-4-11(2004),+A1 EN300 386 V2.1.1(2016)		1	
	EN61000-3-2 (2014) EN61000-3-3 (2013)			✓

環境物質・リサイクルと廃棄(欧州)

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
ErP指令 (2009/125/EC)	✓	1	1
RoHS II (2011/65/EU)		1	
新化学品 規則(REACH: No 1907/2006)		1	
電池及び蓄電池に関する欧州議会及び理事会指令(2006/66/EC)		1	
電気・電子機器廃棄物指令(WEEE指令)			1

環境物質・リサイクルと廃棄(欧州)(続き)

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
包装及び包装廃棄物に関する欧州議会及び理事会指令(包装材指令)			✓

輸出関連(欧州)

規格番号		
IATA 危険物規則書第58版(2017年版)		
(リチウム/リチウムイオン電池/電気二重層キャパシタの輸送規制)		
外国為替及び外国貿易法		
各国関税法		
米国輸出管理規則(Export Administration Regulations:EAR)		

日本

安全・電波・電源高調波(日本)

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
PSE	電気用品安全法	1		
VCCI	VCCI (2016) /VCCI-CISPR 32 (2016)		1	
-	JIS C 61000-3-2 (2019)			✓

省エネ・環境物質・リサイクルと廃棄(日本)

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
エネルギーの使用の合理化に関する法律	1		
化学物質の審査及び製造に関する法律(化審法)		1	
国等による環境物品等の調達の促進に関する法律(グリーン購入法)		1	
資源の有効な利用の促進に関する法律			1

輸出関連(日本)

規格番号		
ATA 危険物規則書第58版(2017年版)		
(リチウム/リチウムイオン電池/電気二重層キャパシタの輸送規制)		
関税法基本通達		

韓国

安全・電波・電源高調波(韓国)

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
ксс	K 60950-1 (2.0) (2011-12) (PSUのみ)	1		
	KN32 Class A KN35 KN61000-4-2/3/4/5/6/8/11		1	

リサイクルと廃棄(韓国)

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
包装材分別表示規則			✓

輸出関連(韓国)

規格番号
IATA 危険物規則書第58版(2017年版)
(リチウム/リチウムイオン電池/電気二重層キャパシタの輸送規制)
外国為替及び外国貿易法
米国輸出管理規則(Export Administration Regulations:EAR)

オーストラリア/ニュージーランド

安全・電波・電源高調波(オーストラリア/ニュージーランド)

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
RCM	IEC60950-1:2005 (2 nd Ed.) ; Amd1+ Amd2 with AU, NZ deviation	1		
	AS/NZS CISPR 32 (2013)		1	

輸出関連(オーストラリア/ニュージーランド)

規格番号
IATA 危険物規則書第58版(2017年版)
(リチウム/リチウムイオン電池/電気二重層キャパシタの輸送規制)
外国為替及び外国貿易法
米国輸出管理規則(Export Administration Regulations:EAR)

適合規制条件への対応

製品に記載されている適合規制条件は、以下のとおりです。

- Voluntary Control Council for Interference (VCCI) - Japan

一般財団法人 VCCI 協会 (VCCI) - 日本

本製品を設置する前に、製品に記載されている注意文をよくお読みください。 製品に記載されている注意文は、以下のとおりです。

- VCCI クラスA 注意文について

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起 こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCC I-A

規制

ここでは、規制を説明します。

CE準拠

システムは、欧州規制の要件に適合しています。

⚠注意

この製品はクラスA製品です。この製品を家庭環境で使用するとRF干渉を引き起こすことがあります。 この場合にはユーザーが適切な対策を採る必要があります。

FCCクラスA適合性宣言

デバイスに FCC 宣言の表示がある場合は、本書に別段の規定がない限り、この宣言は本書に記載されている製品に適用されます。その他の製品に関する宣言は、付属のドキュメントに記載されます。

⚠注意

この機器は、FCC規則のPart15で規定されている「クラスA」デジタルデバイスの条件に準拠して いることが、試験を通じて検証されていて、デジタルデバイスについてのカナダ干渉発生機器標準 ICES-003のすべての要件を満たしています。これらの制限は、本装置を家庭内設置で運用する場合 に、電波障害に対する適切な保護措置が行われるように設計されています。本製品は、無線周波エ ネルギーを発生、使用、また放射する可能性があり、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあ りますが、手順に厳密に従って設置、利用する場合はその限りではありません。ただし、特定の設 置条件で干渉が発生しないという保証はありません。本製品によってラジオまたはテレビに有害な 干渉が発生する場合(機器のスイッチをオン/オフして確認できます)、以下の1つまたは複数の対 策を講じて干渉を修復することを推奨します。

- 受信アンテナの方向を変えるか設置場所を変えます。
- 装置と受信機との距離を広げます。
- 装置を、受信機が接続されている回路とは別のコンセントに接続します。
- 販売店または経験を積んだラジオ/TV技術者にサポートを依頼します。

この機器を許可なく改造したり、富士通が指定する以外の接続ケーブルや機器の代替使用または接 続を行った場合は、これによって生じたラジオまたはテレビの干渉について、富士通は、一切の責 任を負わないものとします。このような許可のない改造、代替使用、接続によって生じた干渉は、 ユーザーの責任で修正するものとします。

本装置をいずれかのオプションの周辺機器またはホストデバイスに接続するには、シールドされた I/Oケーブルを使用する必要があります。遮蔽I/Oケーブルを使用しないと、FCCおよびICES規則に 違反する場合があります。

マニュアル体系

ドキュメントは、オンラインで入手できます。 日本の場合

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/supercomputer/downloads/ 海外の場合

https://www.fujitsu.com/global/products/computing/servers/supercomputer/documents/ ドキュメントの概要は、以下の表を参照してください。

ドキュメント	マニュアルコード	説明
FUJITSU Supercomputer	C120-0089	装置のインストール、セットアップ、および運用の
PRIMEHPC FX700 オペレーティン		方法に関する情報を記載しています(オンラインで
グマニュアル		提供)。

ドキュメント	マニュアルコード	説明
FUJITSU Supercomputer	C120-0090	装置のアップグレード、または故障したハードウェ
PRIMEHPC FX700 アップグレード		アの交換手順を記載しています(オンラインで提供)。
&メンテナンスマニュアル		
FUJITSU Supercomputer	C120-0091	装置の状態を管理するBMC(Baseboard Management
PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズ		Controller)に関する情報を記載しています(オンラ
ガイド		インで提供)。
FUJITSU Supercomputer	C120-0092	安全に関する重要な情報を記載しています(オンラ
PRIMEHPC FX700 安全にご使用い		インおよび印刷版で提供)。
ただくために		
FUJITSU Supercomputer	C120-0093	装置の開梱後、参照すべきマニュアルおよび重要な
PRIMEHPC FX700 はじめにお読み		情報へのアクセス方法について説明しています(製
ください		品添付マニュアル)。

添付品の保管について

添付品はFX700本体装置の運用上必要になりますので、大切に保管してください。

表記上の規則

本書では、以下のような字体や記号を、特別な意味を持つものとして使用しています。

字体または記号	意味	記述例
AaBbCc123	ユーザーが入力し、画面上に表示される内容を示します。	<pre># adduser jsmith</pre>
	この字体は、コマンドの入力例を示す場合に使用され	
	ます。	
AaBbCc123	コンピューターが出力し、画面上に表示されるコマン	Shell> showinfo
	ドやファイル、ディレクトリの名称を示します。	•
	この字体は、枠内でコマンドの出力例を示す場合に使	•
	用されます。	M.2 Slot Device Status: PASS
[]	参照するマニュアルのタイトルを示します。	FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC
		FX700 BMCユーザーズガイド』を参照
		してください。
Гј	参照する章、節、項、ボタンやメニュー名を示します。	「第4章 操作」を参照してください。

警告ラベル

当製品には警告ラベルが貼付されています。

⚠注意

ラベルは絶対にはがさないでください。

本体装置(天面)



商標一覧

- 会社名と製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。
- 本資料に掲載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、(R))を付記して おりません。

本書を無断で複製・転載しないようにお願いします。 All Rights Reserved, Copyright. 富士通株式会社 2020

製品取扱い上の注意事項

メンテナンスについて

▲警告

当製品および弊社提供のオプション製品について、点検や修理の作業は担当技術員または弊社の担 当営業へ依頼してください。お客様は絶対に作業しないようお願いします。感電、けが、発火のお それがあります。

当製品の改造/再生について

∧注意

当製品に改造を加えたり、当製品の中古品を再生して使用したりすると、使用者や周囲の方の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

ご不要になったときの廃棄・リサイクル

弊社では、ご使用済みのICT 製品を回収・リサイクル(有償)し、資源の有効利用に積極的に取り組んで います。詳細は、弊社ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」(https://www.fujitsu.com/jp/ about/environment/society/recycleinfo/)をご覧いただくか、担当営業にお問い合わせください。

リチウム電池の取扱いについて

当製品には、リチウム電池を使用していますが、リチウム電池の交換をお客様に実施していてだくことは ありません。お客様は絶対に作業しないようお願いします。破裂、爆発のおそれがあります。

目 次

はじめに	<u>.</u>		i
製品取扨	い上	の注意事項	x
第1章	製品	品の説明	1
	1.1	FX700本体装置の概要	1
		1.1.1 FX700本体装置の外観図	2
		1.1.2 FX700本体装置前面の構成	3
		1.1.3 FX700本体装置背面の構成	4
		1.1.4 FX700本体装置のLAN ······	5
	1.2	FX700本体装置のボタンとLED	6
		1.2.1 FX700本体装置前面のボタンとLED	6
		1.2.2 FX700本体装置背面のLED	10
第2章	注意	意事項	15
	2.1	設置上の注意事項	15
	2.2	電源・電圧・接続上の注意事項	16
	2.3	FX700本体装置の取扱い上の注意	16
	2.4	環境保護	17
	2.5	環境情報	18
第3章	起重	<u>ታ</u>	20
	3.1	設置手順	20
	3.2	設置諸元	21
	3.3	設置環境	23
		3.3.1 塵埃	23
		3.3.2 腐食性ガス	23
		3.3.3 海水(塩害)	23
	3.4	分電盤の遮断特性	24
	3.5	設置エリア・保守エリア	25
	3.6	ラック搭載について	26
	3.7	FX700本体装置の開梱	30
	3.8	シャーシのラックへの搭載	31
		3.8.1 ラックレールをラックに取り付ける	31
		3.8.2 シャーシをラックに搭載する	35

	3.9	ブレードの取付け/取外し	37
		3.9.1 ブレードをシャーシに取り付ける	37
		3.9.2 ブレードをシャーシから取り外す	38
	3.10	PSUの取付け/取外し	39
		3.10.1 PSUをシャーシに取り付ける	39
		3.10.2 PSUをシャーシから取り外す	40
	3.11	ダミーブレードの取付け/取外し	40
		3.11.1 ダミーブレードをシャーシに取り付ける	40
		3.11.2 ダミーブレードをシャーシから取り外す	41
	3.12	ダミーPSUの取付け/取外し	42
		3.12.1 ダミーPSUをシャーシに取り付ける	42
		3.12.2 ダミーPSUをシャーシから取り外す	42
	3.13	FANUの取付け/取外し	43
		3.13.1 FANUをシャーシに取り付ける	43
		3.13.2 FANUをシャーシから取り外す	44
	3.14	入力電源の接続仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46
		3.14.1 入力電源接続仕様(FX700本体装置)	46
	3.15	ケーブルの接続	47
		3.15.1 ケーブルの接続と取外しに関する注意事項	47
		3.15.2 LANケーブルの接続	47
		3.15.3 電源ケーブルの接続	47
	3.16	電源を初めてオンにする	47
		3.16.1 AC電源オン	48
		3.16.2 BMC初期設定 ······	48
	3.17	OSのインストール	49
		3.17.1 OSのインストール手順	49
		3.17.2 OSドライバのインストール手順	51
	3.18	InfiniBandドライバのインストール	52
第4章	操作		53
	4.1	電源のオン/オフ	53
		4.1.1 FX700本体装置のAC電源オン/オフ	53
		4.1.2 ノードの電源状態を変更する	53
	4.2	シャーシの取外し	54
		4.2.1 ラックからシャーシを取り外す	54
	4.3	FX700本体装置の手入れ ······	56
第5章	トラ	,ブル時の情報採取	57
	5.1	ログ(スナップショット)採取手順	57
	5.2	ハードウェアのトラブル	58
	5.3	OSドライバ関連の問題 ·····	58
		5.3.1 保守のための採取情報	58

付録 B	CPU	J-ME	M-RAS	ドライ	バのメ	ッセ-	ージ					· 69
付録A	BMC	こドラ	っイバの	メッセ	ージ	•••••	•••••	•••••	•••••	•••••		• 62
	6.1 F	-X700	本体装置の	仕様 …								• 61
第6章	技術	仕様						•••••	•••••			• 61
	:	5.4.5	Web GUI使	用上の注意	事項							• 60
	:	5.4.4	PSU減設に	おける注意	事項 …							· 60
		5.4.3	コマンド使	用上の注意	事項 …							· 60
	:	5.4.2	ノードコン	ソールがハ	ングアッ	プした場	合					• 59
												• 59
	:	5.4.1	BMC mana	gement LA	Nポート	およびBM	/IC servic	e LAN	ポートの	両方をDis	sableにした	と場合
	5.4	その他	トラブル									. 59

図表目次

図目次

义	1.1	本体装置前面	2
义	1.2	本体装置背面	2
义	1.3	本体装置上面	2
义	1.4	本体装置右側面	2
义	1.5	FX700本体装置前面の構成(ベゼルあり)	3
义	1.6	FX700本体装置前面の構成(ベゼルなし)	3
义	1.7	FX700本体装置背面の構成	4
义	1.8	FX700本体装置背面のLANの位置	5
义	1.9	FX700本体装置前面のボタンとLEDの位置	6
义	1.10	フロントパネルのボタン	7
义	1.11	フロントパネルのLED	8
义	1.12	FANUOLED	9
义	1.13	FX700本体装置背面のLEDの位置	10
义	1.14	LANポートのLED	10
义	1.15	ブレード背面のLAN以外のLED ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
义	1.16	ブレード背面のLANのLED ······	11
义	1.17	BMCIFUØLED (ID)	12
义	1.18	BMCIFUのLANのLED ·····	13
义	1.19	PSUØLED	14
义	3.1	分電盤ブレーカの特性条件	24
义	3.2	設置エリア・保守エリア	25
义	3.3	ラックの奥行	27
义	3.4	ラックの横幅	28
义	3.5	ラック柱の形状	29
义	3.6	製品名とシリアル番号の確認	30
义	3.7	ラックレールの取付部材	31
义	3.8	レールのネジの位置	32
义	3.9	ピン交換前(ピン直径:Φ9.2)	32
义	3.10	ピン交換後(ピン直径:Φ6.7)	33
义	3.11	レールの背面	33
义	3.12	レールの前面	34
义	3.13	レールの固定箇所	34
义	3.14	レールのネジの位置	35
义	3.15	レール取付け後	35

义	3.16	シャーシの取付け	36
义	3.17	シャーシの固定箇所	36
义	3.18	背面板金の取付け	37
义	3.19	ブレードの取付け	38
义	3.20	ブレードの取外し	39
义	3.21	PSUの取付け	39
义	3.22	PSUの取外し	40
义	3.23	ダミーブレードの取付け	41
义	3.24	ダミーブレードの取外し	41
义	3.25	ダミーPSUの取付け	42
义	3.26	ダミーPSUの取外し	43
义	3.27	FANUの取付け	43
义	3.28	FANUの取付け完了 ······	44
义	3.29	ベゼルの取付け	44
义	3.30	FANUのロック解除	45
义	3.31	FANU取外し時の保持箇所 ······	45
义	3.32	FANUの取外し	46
义	4.1	背面板金の取外し	54
义	4.2	つまみネジを外す	55
义	4.3	シャーシの取外し	55
义	5.1	メッセージの表示	57
义	5.2	Webページからのメッセージ	60

表目次

表	2.1	製品詳細	18
表	2.2	環境情報	18
表	2.3	重要な原材料の含有量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
表	3.1	設置諸元	21
表	3.2	腐食性ガスの許容基準	23
表	3.3	分電盤ブレーカの特性条件	24
表	3.4	他社製ラックへの搭載条件	26
表	3.5	電源ケーブル仕様	46
表	6.1	FX700本体装置諸元	61

第1章 製品の説明

この章では、FX700本体装置の概要と情報を説明します。

1.1 FX700本体装置の概要

ここでは、FX700本体装置の概要を説明します。

FX700本体装置は、ARMベースのCPU(A64FX)を搭載したブレードを複数搭載可能な製品です。 BMC/CPUファームウェアが提供されたBMCボードも含まれます。 備考

複数のブレードを搭載する場合は、同種のブレードを用いてください。異なる種類のブレードを混載して の動作保証はありません。

以下の特徴があります。

- 1ブレードに2ノード/2CPUを搭載。FX700本体装置(2U筐体)に1~4ブレードを搭載可能。
- CPUは、HPC向けに富士通が独自開発したA64FXプロセッサを採用。命令セットアーキテクチャー にArmv8.2-A SVEを採用し、48コア、3.072 TFlops(2.0 GHz動作時)の性能を持つ。HBMインター フェース、ならびにPCI-Express(PCIe) Gen3 16Ianeのコントローラを内蔵。
- CPUのプロセッサ周波数は、1.8 GHzまたは2.0 GHzに対応。
- メインメモリはHBM(High Bandwidth Memory)を採用し、1,024 GB/sの高メモリ帯域を確保。
- 1ノードあたり以下のI/Oを装備。

HHHL PCleカードスロットx1 2280 M.2スロットx1 1 GbE LANポートx1

- BMCプロセッサを備え、8ノードを1つの制御単位とし、FX700本体装置内のハードウェアの制御お よび監視を実施する。
- シャーシ内に搭載されたファームウェアがノードの電源投入時にハードウェア診断を実施する。
- OSはRed Hat Enterprise Linux 8をサポートする。

ハードウェア構成部品は、「第6章 技術仕様」を参照してください。

1.1.1 FX700本体装置の外観図

ここでは、FX700本体装置の外観図(前面、背面、上面、右側面)を示します。

図 1.1 本体装置前面

	THE FERRER AND		
	II-debeeddeb Caaalii-debededii Caaalii-debeddii Caaalii - Coalii - Debedde deb taaalii - Debeddebedde aad	5	
1000		2	
100			
16.00			
	TO SERVICE OF THE REPORT OF TH		
100	I HAVE SETTING A TRANSPORTED AND AND AND AND AND AND AND AND AND AN	8	
		199	

図 1.2 本体装置背面

000		0
0		0

図 1.3 本体装置上面



図 1.4 本体装置右側面



1.1.2 FX700本体装置前面の構成

ここでは、FX700本体装置前面を示します。

図 1.5 FX700本体装置前面の構成(ベゼルあり)



図 1.6 FX700本体装置前面の構成(ベゼルなし)



位置	コンポーネント
(1)	フロントパネル
(2)	FANU#00
(3)	FANU#01
(4)	FANU#02
(5)	FANU#03

1.1.3 FX700本体装置背面の構成

ここでは、FX700本体装置背面を示します。



位置	コンポーネント
(1)	CMU#00
(2)	CMU#01
(3)	CMU#02
(4)	CMU#03
(5)	PSU#00
(6)	PSU#01
(7)	PSU#02
(8)	BMCIF#00

図 1.7 FX700本体装置背面の構成

1.1.4 FX700本体装置のLAN

ここでは、BMC service LAN、BMC management LAN、およびNode management LANの位置を示します。



図 1.8 FX700本体装置背面のLANの位置

位置	表示	名称	説明
(1)	Y s	BMC service LAN	保守作業時に保守作業用端末の接続に使用する
(2)	昌 古古 C	BMC management LAN	BMCに接続し、ハードウェアの状態監視、故障通知、および 電源制御に使用する
(3)	₽ E E M	Node management LAN	ノードへの接続に使用する

1.2 FX700本体装置のボタンとLED

ボタンを操作してFX700本体装置の電源のON/OFFをします。 LEDは、どの部品を交換する必要があるか、いつ交換できるかなど、さまざまな状態を示します。LEDの 状態を確認することで、保守作業者の操作ミスを防ぐことができます。

FX700本体装置前面のボタンとLED 1.2.1

「図 1.9 FX700本体装置前面のボタンとLEDの位置」に、フロントパネルのボタンとFANUのLEDの位 置を示します。



図 1.9 FX700本体装置前面のボタンとLEDの位置

詳しくは、「1.2.1.1 フロントパネルのボタン」、「1.2.1.2 フロントパネルのLED」および「1.2.1.3 FANUのLED」を参照してください。

1.2.1.1 フロントパネルのボタン

▲注意

運用中にBMCリセットすると、システム動作に異常が発生する可能性があります。



図 1.10 フロントパネルのボタン

位置	表示	ボタン	説明
(1)	\bigcirc	Power on/off button	ボタンを押すと、電源の投入と切断ができます。 -短押しで、全ノードの電源を投入します(装置内の全ノード がオフ状態の場合のみ有効)。 -長押し(4秒以上)で、全ノードのオペレーティングシステ ムのシャットダウンを開始します。
(2)	RESET	BMC reset button	ボタンを押すと、BMCをリセットすることができます。BMC アクセス不可時の保守用に使用してください。

1.2.1.2 フロントパネルのLED



図 1.11 フロントパネルのLED

位置	表示	LED	状態	説明
(1)	5	System	オフ	本装置が保守対象に選択されていない
		identification	青色の点灯	本装置が保守対象に選択されている
			青色の点滅	本装置が保守中である
(2)	A	System alarm	オフ	故障なし
	<u>\i</u> \'	LED	オレンジ色の点灯	本装置内に即時交換部品あり
			オレンジ色の点滅	本装置内に予防交換部品あり
(3)	6	System power	オフ	全ノード 電源off状態
	G	LED	緑色の点灯	電源on状態のノードあり
(4)	BMC	BMC ready LED	オフ	AC off状態/BMC 停止状態
	RDY		緑色の点灯	BMC初期化完了状態
			緑色の点滅	BMC初期化中
			緑色の高速点滅	BMCに故障あり

1.2.1.3 **FANU**のLED

図 1.12 FANUのLED



位置	LED	状態	説明
(1)	FANU alarm LED	オフ	故障なし
		オレンジ色の点灯	本FANUに故障あり

FX700本体装置背面のLED 1.2.2

「図 1.13 FX700本体装置背面のLEDの位置」に、FX700本体装置背面のLEDの位置を示します。



LEDについて詳しくは、「1.2.2.1 ブレード背面のLAN以外のLED」、「1.2.2.2 ブレード背面のLANの LED」、「1.2.2.3 BMCIFUのLED」、および「1.2.2.4 PSUのLED」を参照してください。 BMC Service LAN、Node management LAN、およびBMC Management LANについては、「1.1.4 FX700 本体装置のLAN」を参照してください。

LANポートのLEDについては「図 1.14 LANポートのLED」を参照してください。



BMC service LAN

図 1.14 LANポートのLED



Node management LAN



(1): Link speed LED (2): Link/Act LED

1.2.2.1 ブレード背面のLAN以外のLED



図 1.15 ブレード背面のLAN以外のLED

位置	表示	LED	状態	説明
(1)	ᠿ	power LED	オフ 緑色の点灯	本ブレードのノードが電源off状態 本ブレードのノードが電源on状態
(2)	\wedge	alarm LED	オフ オレンジ色の点灯 オレンジ色の点滅	故障なし 本ブレード内に即時交換部品あり 本ブレード内に予防交換部品あり
(3)	ID	identification LED	オフ 青色の点灯 青色の点滅	本ブレードが保守対象に選択されていない 本ブレードが保守対象に選択されている 本ブレードが保守中である

1.2.2.2 ブレード背面のLANのLED

図 1.16 ブレード背面のLANのLED



位置	LED	状態	説明
(1)	LAN速度LED	オレンジ色の点灯	転送速度1 Gbit/sのデータトラフィックであることを示しています。
		緑色の点灯	転送速度100 Mbit/sのデータトラフィックであることを示してい ます。
		オフ	転送速度10 Mbit/sのデータトラフィックであることを示しています。
(2)	LANリンク/転送	緑色の点灯	LAN接続が確立されました。
	LED	オフ	LANが接続されていません。
		緑色の点滅	LANデータ転送中です。

1.2.2.3 BMCIFUのLED



位置	表示	LED	状態	説明
(1)		System	オフ	本装置が保守対象に選択されていない
		identification LED (rear)	青色の点灯	本装置が保守対象に選択されている
			青色の点滅	本装置が保守中である



位置	LED	状態	説明
(1)	LAN速度LED	オレンジ色の点灯	転送速度1 Gbit/sのデータトラフィックであることを示しています。
		緑色の点灯	転送速度100 Mbit/sのデータトラフィックであることを示してい ます。
		オフ	転送速度10 Mbit/sのデータトラフィックであることを示しています。
(2)	LANリンク/転送	緑色の点灯	LAN接続が確立されました。
	LED	オフ	LANが接続されていません。
		緑色の点滅	LANデータ転送中です。

1.2.2.4 PSUØLED



位置	LED	状態		説明
		緑色のLED	オレンジ色の LED	
(1)	PSU status LED	消灯	消灯	装置に搭載された全PSUのAC入力なし
		消灯	点灯	以下のいずれかの状態 - PSU異常により出力停止 - 装置搭載の他PSUにAC接続、かつ当該 PSUにAC入力なし
		点滅	消灯	PSUのAC入力あり、かつ出力停止
		点灯	消灯	PSU正常動作中

第2章 注意事項

この章には、当製品を正しく安全に使用するための注意事項を記載します。

2.1 設置上の注意事項

∧ 警告

- 床の強度が弱い場所に設置しないでください。床が抜けるおそれがあります。
- 湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に設置しないでください。 故障・火災・感電の原因となります。
- 水のかかる場所で使用しないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 空気の吸排気口をふさがないでください。吸排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
- FX700本体装置(ラックシステムを含む)は、0.2G(震度5程度:強震相当)以下の振動では問題なく動作するように設計されています。

地震発生時の転倒防止のために、ラックシステムの設計の際には必ず装置/ラックの固定などの耐 震対策を行う必要がありますので、担当営業員にご相談ください。

⚠注意

- 腐食性ガスが発生する地域や塩害地域では使用しないでください。故障の原因となります。腐食 性ガスや塩風は、装置を腐食させ、誤動作、破損および、装置寿命を著しく短くする原因となり ますので、空気清浄装置を設置するなどの対策が必要となります。

また、塵埃が多い場所についても、記憶媒体の破損、装置冷却の妨げなどにより、誤動作や装置 寿命を著しく短くする原因となります。

- 腐食性ガスの発生源としては、化学工場地域、温泉/火山地帯などがあります。
- 塩害地区の目安としては、海岸線から500m以内となります。
- 電源ケーブルおよび各種ケーブル類に足がひっかかる場所には設置しないでください。装置が落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。また、装置の故障や誤動作の原因にもなります。
- テレビやスピーカの近くなど、強い磁界が発生する場所には設置しないでください。故障の原因 となります。
- 装置の上に重い物を置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原 因となります。また、装置の上に物を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。装置が故 障したり、誤動作したりする場合があります。
- FX700本体装置は、水平で安定した場所、および大きな振動が発生しない場所に設置してください。振動の激しい場所や傾いた場所など不安定な場所は、落ちたり倒れたりしてけがの原因になりますので、設置しないでください。
- また、危険防止のため通路の近くには、設置しないでください。通路の近くに設置すると、人の 歩行などで発生する振動によって本体が故障したり誤動作したりする場合があります。

2.2 電源・電圧・接続上の注意事項

⚠警告

- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。奥まで差し込まずに使用する と、火災・故障の原因となります。
- アース接続が必要な装置は、電源を入れる前に、必ずアース接続をしてください。万一漏電した 場合、火災・感電の原因となります。
- FX700本体装置は、アースされた中性線を持つ電力系を使用するように設計されています。それ 以外の電源にFX700本体装置を接続すると、感電や故障の原因となります。建物に供給されてい る電力の種類がわからない場合は、施設の管理者または有資格の技術者にお問い合わせください。
 家庭用の延長コードを弊社の製品に接続しないでください。家庭用の延長コードには過負荷保護
- がないため、コンピューター用として使用できません。火災や感電の原因となります。
- 付属の電源ケーブルを他の装置や用途に使用しないでください。添付の電源ケーブルはFX700本 体装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。 決して他の製品や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 本製品はノルウェーで使用するために、相間電圧230 VのITパワーシステムで動作するように設計 されています。

2.3 FX700本体装置の取扱い上の注意

∧ 警告

- FX700本体装置のカバーや差込み口に付いているカバーは、オプション装置の取付けなど、必要 な場合を除いて取り外さないでください。また、カバーを取り外した場合は、装置の電源を入れ る前に、必ずカバーを元に戻してください。

内部の点検、修理は修理相談窓口にご連絡ください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原 因となります。

- オプション装置の取付けや取外しを行う場合は、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 アップグレード&メンテナンスマニュアル』(C120-0090)の手順に従ってください。FX700本体 装置および接続されている装置の電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感 電の原因となります。
- 弊社推奨品以外の装置は接続しないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込ん だりしないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- コネクターの差込み口に指などを入れないでください。感電の原因となります。
- 装置の開口部(通風孔など)をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火 災の原因となります。
- 清掃の際、清掃用スプレー(可燃性物質を含む物)を使用しないでください。故障・火災の原因 となります。
- 周囲で殺虫剤などを使って害虫駆除を行う場合には、装置を停止し、ビニールなどで保護してく ださい。
- 装置に水をかけないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- FX700本体装置の移動は極力慎重に行ってください。2人以上で移動してください。

<u>∧注意</u>

- 装置の上に重い物を置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて 倒れたり、落下したりしてけがの原因となります。
- 装置を輸送する際は、必ず元の梱包材に入れるか、あるいは、衝撃から装置を保護するように梱 包してください。設置場所に着くまで、装置の梱包箱を開梱しないでください。
- 携帯電話など電波を発する装置をFX700本体装置に近づけて使用しないでください。FX700本体 装置が正しく動かなくなります。
- 装置は「JISZ0200」に準拠した衝撃試験を実施し、耐力があることを確認していますが、過度 な衝撃を与えないように取り扱いには十分に注意してください。

2.4 環境保護

環境に優しい製品の設計と開発

この製品は、「環境に優しい製品の設計と開発」のための富士通の基準に従って設計された製品です。具体的には、耐久性、資材の選択とラベリング、排出物、梱包材、分解とリサイクルの容易さなどに配慮さ れています。

これにより資源が節約され、環境に対する悪影響が少なくなります。

省電力について

常に電源を入れておく必要のないデバイスは、必要になるまで電源を入れないことはもとより、長期間使 用しない場合や、作業の完了後も電源を切るよう心がけてください。

梱包材について

この梱包材情報は日本およびAPACには該当しません。 梱包材は捨てないでください。装置を輸送するために、梱包材が後日必要になる場合があります。装置を 輸送する際は、できれば元の梱包材に入れてください。

消耗品の取扱い方法

プリンタの消耗品やバッテリーを廃棄する際は、該当する国の規制に従ってください。 EUガイドラインにより、分類されていない一般廃棄物と一緒にバッテリーを廃棄することはできません。 バッテリーは、メーカー、販売店、正規代理店に無料で返却してリサイクルまたは破棄してもらうことが できます。 汚染物質が含まれているバッテリーには、すべてマーク(ゴミ箱の絵に×印)が付いています。また、以 下のような汚染物質として分類されている重金属の化学記号も記載されます。 Cd カドミウム Hg 水銀 Pb 鉛

プラスチック製のケース部品のラベル

可能な限り、お客様独自のラベルをプラスチック製の部品に貼らないでください。貼った場合、リサイク

ルが困難になります。

返却、リサイクルおよび廃棄

返却、リサイクル、廃棄を行う場合は、各自治体の規制に従ってください。



一般廃棄物と一緒にこのデバイスを廃棄することはできません。

このデバイスには、欧州指令 2012/19/EU の電気・電子機器廃棄物指令(WEEE)に従っ てラベルが貼られています。

この指令は、使用済み装置の返却とリサイクルに関して、EU全域に有効な枠組みを定めたものです。使用済みデバイスを返却する際は、利用可能な返却および収集方式をご使用 ください。

ヨーロッパでのデバイスおよび消耗品の返却とリサイクルに関する詳細は、『Returning used devices』マニュアルにも記載しています。このマニュアルは、最寄りのFujitsuの支店で入手できます。

2.5 環境情報

以下に、主な環境情報を示します。

表 2.1 製品詳細

製造業者名	富士通株式会社	
連絡先	Fujitsu Technology Solutions GmbH	
	Mies-van-der-Rohe-Straße 8	
	D-80807 Munich, Germany	
製品タイプ	サーバー(HPC)	
製造名	FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700	
製造年	2020年	

表 2.2 環境情報

PSUタイプ	マルチアウトプット
PSU定格出力20% / 50% / 100%におけるPSU効率	95.2 / 95.5 / 93.1
PSU定格出力50%における力率	1
PSU定格電力出力 (Watts)	1,800
装置稼動条件クラス	A2(湿度20%RH~80%RH)
アイドル状態の電力 (Watts)	403.3(CMU x1)
アイドル状態電力(高温時) (Watts)	598.4(CMU x1)
最大電力 (Watts)	2,723

原材料	含有量
電池中のコバルト	なし
HDD中のネオジウム	なし

表 2.3 重要な原材料の含有量
第3章 起動

この章では、FX700本体装置の設置から起動までを説明します。

3.1 設置手順

ここでは、設置手順を説明します。作業の前に「第2章 注意事項」を参照して、熟読してください。

1. FX700本体装置の設置場所を決めます。

「3.2 設置諸元」、「3.3 設置環境」、「3.4 分電盤の遮断特性」、および「3.5 設置エリア・保守 エリア」の項を参照してください。

- 2. パッケージを開梱し、輸送中に受けた目に見える損傷がないか確認します。
- 3. 配達された商品が納品書に記載されている明細と一致しているか確認します。 「3.7 FX700本体装置の開梱」の項を参照してください。

必要なマニュアルが揃っていることを確認し、必要に応じてPDFファイルを印刷します。FX700シス テムのマニュアル体系は、「はじめに」に記載の「マニュアル体系」を参照してください。 備考

追加注文したコンポーネントは、FX700本体装置とは別に配達される場合があります。

4. ラックレールをラックに取り付けます。

「3.8.1 ラックレールをラックに取り付ける」を参照してください。

- FX700本体装置をラックに取り付けます。
 「3.8.2 シャーシをラックに搭載する」を参照してください。
- FX700本体装置の配線を行います。
 「3.15.1 ケーブルの接続と取外しに関する注意事項」を参照してください。
- FX700本体装置を主電源に接続します。
 「3.15.3 電源ケーブルの接続」を参照してください。
- 8. **FX700本体装置の前面および背面にあるボタンとLEDの意味を把握しておきます。** 「1.2 FX700本体装置のボタンとLED」を参照してください。
- 9. FX700本体装置のBMC初期設定をします。

「3.16 電源を初めてオンにする」を参照してください。

10. **OSとドライバをインストールします**。

「3.17 OSのインストール」および「3.18 InfiniBandドライバのインストール」を参照してください。

3.2 設置諸元

ここでは、FX700本体装置の設置諸元を示します。

項目				内容	
外形寸法	幅 (*1)			482.6	
[mm]	奥行 (*2)		813		
	高さ			86.9 (2 U)	
質量[kg] (*3)				41.8	
空調条件	最大発熱量[kJ/h]			9,803	
	排気量[m ³ /min]	推奨環境温度		5.5	
	(*4)	最大		7.8	
	温湿度条件 (*5)	稼動時	温度[℃]	5~35	
			湿度[%RH]	20~80	
		スタンバイ時	温度[°C]	5~40 (*6)	
			湿度[%RH]	20~80	
		休止時 (*7)	温度[°C]	0~50 (*6)	
			湿度[%RH]	8~80	
		温度勾配		15[°C/Hr.]以下	
		湿度勾配		30[%/day]以下	
	騒音[dB] (*8、*9)			66	
	音響パワーレベル[B] (*9)			8.2	
	許容振動 稼動時(待機時を含む) 4		4.0 (400)(合成地震波)		
	[m/s² (gal)]	休止時 (*10)		10.0 (1000)(合成地震波)	
	許容塵埃量[mg/m³]			0.15	
高度	動作時[m]			0~3,000	
	休止時[m] (*6、*7)			0~12,000	
電源条件	入力電圧および相数			200~240 VAC±10 % 1φ	
	周波数および変動幅			50/60 Hz +3/-3 %	
				2,723	
	最大皮相電力[VA]			2,751	
	力率 (*11)			0.95 以上	
	突入電流[A] [ラッシュ	時間] (*12)		30 以下	
	漏洩電流[mA] (*13)			3.5 以下	

表 3.1 設置諸元

*1: フロントカバーを含む寸法です。

*2: 突起物は含まない寸法です。(突起部を含む寸法は838.5 mm)

*3: 各オプション装置を最大搭載した場合の数値です。ただし、ラック搭載用レールおよびケーブル類は含み ません。 (参考 ラック搭載用レール 2.7 kg) 装置構成に応じた質量は、以下の計算式で算出できます。 第3章 起動 3.2 設置諸元

- 装置質量 = 17.7+(4.8×A)+(1.6×B)+(1.0×C)+(0.03×D)[kg]
 - A = ブレード搭載数(最大4)
 - B=PSU搭載数(最大3)
 - C=ダミーブレード搭載数(最大3)
 - D = ダミーPSU搭載数(最大1)
- *4: 推奨環境温度で使用時でも、装置が過負荷状態の場合、あるいは異常を検出した場合、FANが高速回転す ることがあります。
- *5: 結露させないでください。
- *6: 凍結させないでください。
- *7: 休止時とは、装置が梱包されて保管されている状態のことです。
- *8: 実際に耳にする騒音レベルは、聞く位置やラックへの搭載状況によって異なります。
- *9: 騒音および音響パワーレベルは、ハードウェア構成・負荷・環境温度により変化します。
- *10: 休止時とは、装置は設置されているが、電源が切断された状態のことです。
- *11: 稼動時の値です。
- *12: 入力ケーブル1本あたりの値です。
- *13: 装置1台あたりの値です。

3.3 設置環境

ここでは、FX700本体装置の設置環境を説明します。

3.3.1 塵埃

■ 浮遊塵埃

電子計算機室の浮遊塵埃は、0.15 mg/m³を超えないようにします。電子計算機はこの浮遊塵埃に耐える よう設計されています。この値は、一般事務室での浮遊塵埃の許容値であり、通常の電子計算機室では、 ほこりなどの浮遊塵埃を含んだ外気の侵入が少なく、煙草の煙などがなければ達成できます。

■ 塵埃の除去

ほこりなどの浮遊塵埃は空調設備のエアフィルターで捕集します。電子計算機室は、定期的な清掃で、床 表面や床下の塵埃を除去しなければなりません。以下の場合は必ず清掃を実施してください。

- 電子計算機室が完成し、機器を搬入する前
- 電子計算機室を改修したとき
- 電子計算機の入替えなど、装置の配置を変更したとき

3.3.2 腐食性ガス

腐食性ガスや潮風は、装置を腐食させ、誤動作、破損、および装置寿命を著しく短くする原因となり、適切な空気清浄設備を設けて除去する必要があります。さらに、清浄な空気で室内を陽圧にすることにより、 外からの腐食性ガスの侵入防止に効果があります。腐食性ガスの発生源としては、化学工場地域、温泉/ 火山地帯などが考えられます。

ガス名称	許容基準
硫化水素 (H ₂ S)	7.1 ppb以下
亜硫酸ガス (硫黄酸化物)(SO ₂)	37 ppb以下
塩化水素 (HCI)	6.6 ppb以下
塩素 (Cl ₂)	3.4 ppb以下
フッ化水素 (HF)	3.6 ppb以下
二酸化窒素 (窒素酸化物)(NO ₂)	52 ppb以下
アンモニア (NH ₃)	420 ppb以下
オゾン (O3)	5 ppb以下
油蒸気	0.2 mg/m ³ 以下

表 3.2 腐食性ガスの許容基準

3.3.3 海水(塩害)

海岸の近傍では潮風により空気中に多量の海塩粒子が浮遊しています。この海塩粒子が電子計算機内に留 まると湿気と化学凝縮した物質により絶縁不良や部材の腐食劣化の原因となりますので、電子計算機は海 岸から離れたところへの設置が必要です。海塩粒子による塩害を防止するための設置基準は以下のとおりです。

基準:洋上または海岸から0.5 km以内に設置しないこと。(ただし、外気を取り入れない空調設備を保有の場合は除く)

3.4 分電盤の遮断特性

FX700本体装置を最適な状態で使用できるようにするため、顧客分電盤ブレーカの特性を考慮する必要が あります。分電盤ブレーカは、「表 3.3 分電盤ブレーカの特性条件」に合ったものを使用してください。

ŧ	22	八重般ゴレーもの性性を	ᆚᄮ
衣	ა.ა	万竜盛ノレールの特性系	R1+

電源入力	ユニット/装置名称	顧客分電盤の ブレーカ容量 欧州以外	顧客分電盤の ブレーカ容量 欧州向け
AC200~240 V	Main Device	20 A	16 A
	Power distribution box	30 A	32 A

ブレーカの遮断特性はLong-time delay typeで、「図 3.1 分電盤ブレーカの特性条件」に示す遮断特性の D相当(IEC898またはDIN0641 part II)、またはそれよりも遮断特性が遅いものを使用してください。



図 3.1 分電盤ブレーカの特性条件

3.5 設置エリア・保守エリア

ここでは、FX700本体装置を19インチラックに搭載した場合の設置エリアと保守エリアを説明します。 設置エリアおよび保守エリアは、搭載する19インチラックにより異なります。



図 3.2 設置エリア・保守エリア

番号		説明	
(1)	背面側保守エリア		
(2)	ラック		
(3)	前面側保守エリア		
(4)	ラック幅	標準タイプ	700 mm
		スリムタイプ	600 mm

3.6 ラック搭載について

FX700本体装置は、富士通製19インチラックに搭載することを基本に製品開発および動作保証していま す。富士通製19インチラックへ搭載した状態で安全に使用するには、以下のURLから関連ドキュメント を参照してください。

日本の場合

http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/peripheral/rack/ https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/manual/peri_rack.html 海外の場合 http://manuals.ts.fujitsu.com/index.php?id=5406-5605-5606

他社ラックに搭載する場合は、お客様の責任でFX700本体装置の仕様・要件とラックの仕様が合うことを 確認して実施していただきます。

換気のコンセプトに適合し、適切な換気を確保するため、ラックの未使用領域はダミーカバーでふさいで ください。

電源は、ラックに取り付けられた複数のソケットから供給されます。

他社製ラックへの搭載条件

装置は、ラックマウントキット(FX700本体装置添付品)を使用してラックへ搭載します。 このため、 やむを得ず他社製ラックに搭載する場合は、搭載を検討されているラックが以下の構造的条件をすべて満 たすことを確認してください。

Check	項目	条件	記載	ばしている 図	
ラックの奥行					
Check1	前ラック柱と後ラック柱 の間隔の内寸	695~785 mm(27.4~30.9 in.)であること。	図 3.3	ラックの奥行	
Check2	前ラック柱の外側より後 ドア内側までの寸法	920mm(36.2 in.)以上あること。	図 3.3	ラックの奥行	
Check3	前ラック柱の外側よりフ ロントドア内側までの寸法	60 mm(2.4 in.)以上あること。	図 3.3	ラックの奥行	
ラックの横幅					
Check4	ラック柱の内側間隔	450 mm(17.7 in.)以上あること。	図 3.4 図 3.5	ラックの横幅 ラック柱の形状	
Check5	ラック柱の取付穴横幅間隔	465 mm(18.3 in.)(EIA規格)であること。	図 3.4 図 3.5	ラックの横幅 ラック柱の形状	
Check6	ブラケット取付スペース	図の斜線部に干渉物(補強用の柱やオプショ ン取付用柱)がないこと。	図 3.4	ラックの横幅	
ラック柱の形	ラック柱の形状				
Check7	取付穴ピッチ	EIA規格に準拠し、ユニバーサルピッチである こと。	図 3.5	ラック柱の形状	
Check8	取付用穴形状およびサイズ	取付用穴形状は角穴で、サイズは9.4x9.4 mm (0.37 in.) から10x10 mm (0.39 in.) である こと。または、丸穴で直径7.1 mm (0.28 in.) であること。ラック柱にネジ穴が開いていな いこと。	図 3.5	ラック柱の形状	

表:	3.4	他社製ラ	ックイ	への搭載	战条件
----	-----	------	-----	------	-----

Check	項目	条件	記載している図
Check9	ケーブル取出し口	ケーブルをラックの底面または後ドアから取 り出しできること。	図 3.3 ラックの奥行
Check10	ラックの耐荷重	総質量がラックの耐荷重以下であること。 注意 耐震対策を施す場合、耐荷重が変わる場合がある。	-
Check11	ラック扉の開口率(ドア 全体に対する空気の通る 割合)	前ドア、後ドアの開口率が80%以上のこと。 注意 サーバー本体はラック前面より吸気し、ラッ ク背面に排気する。	-
Check12	ラックの転倒防止対策	ラックの転倒防止対策がされていること。	-

表 3.4 他社製ラックへの搭載条件(続き)

ラックの奥行条件

図 3.3 ラックの奥行



番号	説明
(1)	前ドア
(2)	前ラック柱
(3)	後ラック柱
(4)	後ドア

ラックの横幅



番号	説明
(1)	前ドア
(2)	前ラック柱
(3)	後ラック柱
(4)	後ドア
(5)	ブラケット取付エリア
(6)	ブラケット取付幅
(7)	サーバー横幅
(8)	サーバー本体

C120-0089-03

ラック柱の形状



図 3.5 ラック柱の形状

その他の条件

構造的な条件以外にも、以下の条件を考慮する必要があります。

- ラック搭載時の装置冷却性

ラック内の温度が「3.2 設置諸元」に記載してある温度条件を満たすようにラックを設置します。 特に、装置の排気が吸気側へ回り込むことのないように、ラック内の空きスペースの前面をふさぐな どの対処が必要です。

- 保守時の作業エリア(サービスエリア)の確保

当社技術委員が保守作業するためのサービスエリアを確保します。サービスエリアは「3.5 設置エ リア・保守エリア」に記載されている富士通製ラックのサービスエリア、および使用するラックの設 置資料を参考に決定します。

3.7 FX700本体装置の開梱

ここでは、各部品の開梱について説明します。

⚠注意

- 安全上の注意事項
- 設置場所に着くまで、FX700本体装置の梱包箱を開梱しないでください。 - 詳細は、「第2章 注意事項」を参照してください。
- 1. 設置する場所にFX700本体装置を運びます。
- すべての部品を開梱します。
 再度輸送する場合に備えて、梱包材は保管します。
- 3. 輸送中の破損がないかどうか確認します。

納品物が破損していたり、納品書と一致しない場合は、直ちに納入業者に連絡します。

配達された商品が納品書に記載されている明細と一致しているかどうかを確認します。
 製品名と製品のシリアル番号は、銘板(FX700本体天板)に記載されています。



図 3.6 製品名とシリアル番号の確認

5. ロゴ(FujitsuおよびFX700)に保護フィルムが貼りついている場合は、すべて取り外してください。

3.8 シャーシのラックへの搭載

ここでは、シャーシのラックへの搭載手順を説明します。

3.8.1 ラックレールをラックに取り付ける

ラックレールをラックに取り付ける手順を説明します。

1. 必要部材を準備します。

図 3.7 ラックレールの取付部材



図 3.8 レールのネジの位置



▲注意

富士通製ではないEIA規格に準拠した19インチラックにFX700本体装置を搭載する場合は、搭載するラックの取り付け用穴形状に応じて、左右レールのピンを交換します。



図 3.9 ピン交換前 (ピン直径: Ф9.2)





3. 右レール背面のピンをラック穴に差し込みます。



4. 右レールの前面に平板金を取り付けます。



5. 右レールの背面を固定します。

Φ6.5ピンを使用する場合、ラックの取り付け用穴のサイズによってはワッシャーを用いず、直接皿 ネジで固定してください。



図 3.13 レールの固定箇所

6. 右レールのスライド部のネジ4か所を締めます。

図 3.14 レールのネジの位置



7. 手順3~手順6を繰り返して、左レールも同様に取り付けます。

図 3.15 レール取付け後



3.8.2 シャーシをラックに搭載する

ここでは、シャーシをラックに搭載する手順を説明します。

▲注意

- シャーシ搭載前にすべてのユニットを取り外してください。

各ユニットの取外し方法は、「3.9.2 ブレードをシャーシから取り外す」「3.10.2 PSUをシャー

シから取り外す」、「3.13.2 FANUをシャーシから取り外す」、および「3.11.2 ダミーブレードを シャーシから取り外す」を参照してください。

- シャーシをラックに搭載する際には、2人以上で作業してください。
- 1. シャーシをレールに沿って、ラックに挿入します。





2. シャーシをラックに固定します。



3. 左右のラックに背面板金を取り付けます。



図 3.18 背面板金の取付け

4. シャーシ搭載後、すべてのユニットを取り付けます。

各ユニットの取付け方法は、「3.9.1 ブレードをシャーシに取り付ける」「3.10.1 PSUをシャーシ に取り付ける」「3.13.1 FANUをシャーシに取り付ける」および「3.11.1 ダミーブレードをシャー シに取り付ける」を参照してください。

3.9 ブレードの取付け/取外し

3.9.1 ブレードをシャーシに取り付ける

ここでは、ブレードをシャーシに取り付ける手順を説明します。

1. ブレードをシャーシに取り付けます。

図 3.19 ブレードの取付け



備考

ロックがかかるまで押し込んでください。

注意

- ブレードを搭載しない場所には、ダミーブレードを取り付ける必要があります。
- ダミーブレードの取付け方法は、「3.11.1 ダミーブレードをシャーシに取り付ける」を参照してくだ さい。
- ブレード挿入時に、ケーブルなどの異物がシャーシ内に入らないように注意してください。

3.9.2 ブレードをシャーシから取り外す

ここでは、ブレードをシャーシから取り外す手順を説明します。

1. ロック(1)を外して、ハンドルを持ってブレードをシャーシから引き出します(2)。



3.10 PSUの取付け/取外し

3.10.1 PSUをシャーシに取り付ける

ここでは、PSUをシャーシに取り付ける手順を説明します。

1. PSUをシャーシに取り付けます。



図 3.21 PSUの取付け

備考

- PSUは、背面から見てロックが右側になるように取り付けてください。

- ロックがかかるまで押し込んでください。

⚠注意

PSUを搭載しない場所には、ダミーPSUを取り付ける必要があります。 ダミーPSUの取付け方法は、「3.12.1 ダミーPSUをシャーシに取り付ける」を参照してください。

3.10.2 PSUをシャーシから取り外す

ここでは、PSUを取り外す方法を説明します。

1. PSUのハンドルを矢印の方向に半分持ち上げ(1)、ラッチを押します(2)。ラッチを押した状態で、 PSUを引き出します(3)。



図 3.22 PSUの取外し

3.11 ダミーブレードの取付け/取外し

3.11.1 ダミーブレードをシャーシに取り付ける

ここでは、シャーシにダミーブレードを取り付ける方法を説明します。

1. ロックがかかるまで、ダミーブレードをシャーシに押し込みます(1)。



注意- ダミーブレード挿入時に、ケーブルなどの異物がシャーシ内に入らないように注意してください。

3.11.2 ダミーブレードをシャーシから取り外す

ここでは、シャーシからダミーブレードを取り外す方法を説明します。

1. ロックを外し、つまみを持って、ダミーブレードを引き出します(1)。



図 3.24 ダミーブレードの取外し

3.12 ダミーPSUの取付け/取外し

3.12.1 ダミーPSUをシャーシに取り付ける

ここでは、シャーシにダミーPSUを取り付ける方法を説明します。

1. ロックを押しながら(1)、矢印の方向にダミーPSUを取り付けます(2)。

図 3.25 ダミーPSUの取付け

2. ダミーPSUは、ロックがかかるまで押し込みます。

3.12.2 ダミーPSUをシャーシから取り外す

ここでは、シャーシからダミーPSUを取り外す方法を説明します。 1. ロックを押して(1)、矢印の方向にダミーPSUを取り外します(2)。

図 3.26 ダミーPSUの取外し



3.13 FANUの取付け/取外し

3.13.1 FANUをシャーシに取り付ける

ここでは、FANUをシャーシに取り付ける手順を説明します。

1. FANUをシャーシに取り付けます。



備考

- FANUのフロント面とフロントパネル面が合っていることを確認してください。

- ロックがかかるまで押し込んでください。
- 2. 手順1と同様に、すべての搭載場所にFANUを取り付けます。



図 3.28 FANUの取付け完了

3. ベゼルを取り付けます。





4. 左右のガイドピンをシャーシに差し込んで、ネジで2か所を固定します。

3.13.2 FANUをシャーシから取り外す

ここでは、FANUをシャーシから取り外す手順を説明します。

1. 第1ロックを解除(1)したまま、FANUを(2)の方向に引き出します。

図 3.30 FANUのロック解除





FANUを取り外す際の保持箇所は、以下のとおりです。



図 3.31 FANU取外し時の保持箇所

例	親指	人差し指	
右手で操作する場合	С	В	
左手で操作する場合	В	A	

2. 第2ロック(3)を押したまま、FANUをシャーシから引き抜きます。

図 3.32 FANUの取外し



3.14 入力電源の接続仕様

ここでは、FX700本体装置の入力電源接続仕様を説明します。

3.14.1 入力電源接続仕様(FX700本体装置)

FX700本体装置の入力電源接続仕様を以下に示します。

プラグ形状 仕向け先 コネクタ形状 備考 日本国内向け 200 V IEC60320-C13 2極接地極付引掛形プラグ 壁コンセントへ接続 海外向け 200 V 「NEMA 規格型名: 受け側コンセント形状 2極接地付引掛形プラグ L6-15P」 (250 V 15 A)用コンセント Ì 「NEMA 規格型名: 00 L6-15RJ 受け側アウトレット形状 IEC60320-C13 IEC60320-C14

表 3.5 電源ケーブル仕様

備考

 - 装置に接続する電源ケーブルは、装置に同梱された電源ケーブル、またはオプション部品に同梱された 電源コードを使用してください。また、同梱された電源ケーブルは、ほかの製品に使用しないでください。
 - 受け側コンセント形状に合ったコンセントボックスを使用してください。

3.15 ケーブルの接続

ここでは、ケーブルの接続の注意事項と情報を示します。

3.15.1 ケーブルの接続と取外しに関する注意事項

▲注意

- 接続するデバイスに付属のマニュアルを必ずお読みください。雷雨のときは、絶対にケーブルを 抜き差ししないでください。ケーブルを抜くときは、絶対に引っ張らないでください。必ずケー ブルのプラグ部分を持ってください。
- LANケーブル等を取り外す際、コネクターのロックに指が入らずケーブルを取り外せない場合 は、マイナスドライバーでコネクターのロックを押した状態にしてロックを解除し、マイナスド ライバーとケーブルを一緒に引き出して取り外してください。

電磁両立性を確保するための情報

すべてのケーブルは、十分なシールドが必要です。ケーブルタイプS/FTP Cat5以上の使用を推奨します。 シールドされていないケーブルまたはシールドが不十分なケーブルを使用すると、放射ノイズが増加した り、デバイスの耐障害性が低下したりする可能性があります。

3.15.2 LANケーブルの接続

ここでは、LANケーブルを接続する手順を説明します。

1. LANケーブルをLANポートに接続します。

FX700本体装置のLANポートは「1.1.4 FX700本体装置のLAN」を参照してください。

2. ポートのLEDを確認します。

「1.2.2.2 ブレード背面のLANのLED」を参照してください。

3.15.3 電源ケーブルの接続

基本構成レベルでは、FX700本体装置には2台のPSUが搭載されます。 3台目のPSUを増設して、冗長電源を確保できます。

- 1. 電源ケーブルをPSUに接続します。
- 2. 主電源プラグを電源タップに接続します。

PSU状態LEDが緑色に点滅することを確認してください。 「1.2.2.4 PSUのLED」を参照してください。

3.16 電源を初めてオンにする

ここでは、AC電源オンおよび各種設定方法を説明します。

⚠注意

指定された温度条件の範囲内で電源を入れてください。動作環境の詳細は、「3.2 設置諸元」を参照してください。指定された温度範囲内で使用しないと、動作が異常になったり、データが失われたりする可能性があります。装置を動作保証温度範囲外で使用した場合に破損や故障が発生しても、弊社は一切の責任を負いません。

3.16.1 AC電源オン

主電源に接続すると、BMC Ready LEDが緑色に点滅します(「図 1.11 フロントパネルのLED」参照)。 ノードの電源をオンにできる状態になるまで約240秒かかります。ノードの電源をオンできる状態になる と、BMC Ready LEDが点灯状態になります。

3.16.2 BMC初期設定

BMC Ready LEDの点灯状態を確認したあとに、BMC Web GUIから初期設定を行います。ブラウザなどの設定は『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)の「第1章 Web GUIを使用するための環境と設定」を参照してください。

BMCにログインする

BMCにログインする方法は『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』 (C120-0091)の「2.1.1 ログイン」を参照してください。

時刻の設定

BMCの時刻を設定するには、「Configuration」メニューの「Time Settings」を選択します。詳しくは、 『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)の「3.4.4 Time Settings」を参照してください。

ネットワークの設定

BMCを使用するためのネットワークを設定するには、「Configuration」メニューの「Network Settings」 を選択します。詳しくは、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』 (C120-0091)の「3.4.3 Network Settings」を参照してください。

SNMP Trapの設定

SNMP Trapを設定するには、「Configuration」メニューの「SNMP Trap Settings」を選択します。詳しく は、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)の「3.4.5 SNMP Trap Settings」を参照してください。

高度の設定

高度を設定するには、「Configuration」メニューの「Chassis Settings」を選択します。詳しくは、 『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)の「3.4.1 Chassis Settings」を参照してください。

電源の投入

電源を投入するには、「Power Control」メニューの「Node Power Control」から「Power On All」を選択 します。詳しくは、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』 (C120-0091)の「3.3 Power Control」を参照してください。

構成の確認

構成を確認するには、「Server Status」メニューの「FRU Information」を選択します。詳しくは、 『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)の「3.1 Server Status」を参照してください。

電源の切断

電源を切断するには、「Power Control」メニューの「Power Control」より電源制御を実施します。詳し くは、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)の「3.3 Power Control」を参照してください。

エラーログの確認

エラーログを確認するには、「System Event Logs」メニューを選択します。詳しくは、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)の「3.2 System Event Logs」を参照してください。

3.17 OSのインストール

OSとOSドライバのインストール手順を説明します。

3.17.1 OSのインストール手順

OSのインストール手順を説明します。 サポート対象のOSをインストールし、サポート対象のカーネルを適用してください。 サポート対象のOSとカーネル版数は以下のサイトを参照してください。 日本の場合 https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/supercomputer/downloads/ 海外の場合 https://www.fujitsu.com/global/products/computing/servers/supercomputer/documents/

インストールには、次の2つの手順を順に実施してください。 - インストールDVDを作成する - ネットワークインストールする

インストールDVDを作成する

インストールDVDの作成手順を記載します。 インストールDVDは、RHN(Red Hat Network)からISOイメージをダウンロードして作成します。

1. **RHNにログインします**。

RHNへの登録はRed Hat, Inc.の「サブスクリプションについてのFAQ」を参照してください。

- 2. **ISOイ**メージの公開サイトページを開きます。
- 3. インストールするディストリビューションを選択します。
- 4. Binary DiscのISOイメージをダウンロードします。

RHNの画面に、MD5チェックサムが表示されています。ダウンロードしたISOイメージのチェック サムが正しいか確認してください。 5. ISOイメージから、インストールDVDを作成します。

インストールDVDができたら、PXEserverを用いてネットワークインストールを行います。「ネット ワークインストールする」にしたがってインストールをしてください。

ネットワークインストールする

ネットワークインストールの手順を記載します。

備考

OSのインストールには各ノードのMACアドレス情報が必要です。事前に各ノードにコンソール接続し、 showinfoコマンドによりMACアドレスを取得してください。

1. PXEサーバーを設定します。

TFTPサーバー、DHCPサーバーの設定を行います。詳しくはRed Hat, Inc.のホームページ『高度な RHEL インストールの実行』(https://access.redhat.com/documentation/ja-jp/red_hat_enterprise_ linux/8/html/performing_an_advanced_rhel_installation/index)の「PXEを使用してネットワークから インストールするための準備」、および「UEFIベースのクライアント向けにTFTPサーバーの設定」 を参照してください。

TFTPサーバーの設定の際、grub.cfgを設定します。

コンソール接続を行うために、grub.cfg設定ファイルに以下のカーネルオプションを追加してください。

earlycon=pl011,0x1c050000 console=ttyAMA0

例) grub.cfg

2. キックスタートファイルを準備します。

HTTPサーバーと、キックスタートファイルの設定を行います。

詳しくはRed Hat, Inc.のホームページ『高度なRHEL インストールの実行』(https://access.redhat. com/documentation/ja-jp/red_hat_enterprise_linux/8/html/performing_an_advanced_rhel_installation/ index) の「HTTPサーバーまたはHTTPSサーバーで使用できるキックスタートファイルの準備」を 参照してください。

コンソール接続を行うためにキックスタートファイルの"bootloader --append="に以下のパラメー ターを追加してください。

earlycon=pl011,0x1c050000 console=ttyAMA0

例)

```
bootloader --append="crashkernel=auto earlycon=pl011,0x1c050000
console=ttyAMA0" --location=mbr --boot-drive=nvme0n1
```

3. コンソール接続します。

ノードの状況を確認するために、インストールを行うノードにコンソール接続を行います。 ノードへのコンソール接続は、以下のように、BMCへのssh接続により実施します。 ポート番号は9000 + ノード番号になります。 例)ノード1の場合 9000 + 1 = 9001

\$ ssh -p 9001 hpcipmi@{BMCのIPアドレス} hpcipmi@{BMCのIPアドレス}'s password:

hpcipmiの初期パスワードはHPCIPMIです。

4. ノードの電源を入れます。

Web GUIの [Power Control] 画面で [Power Control] に「Power on」を指定します。[Boot Script Number] には「02h」を指定します。

詳細は、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)の 「3.3 Power Control」を参照してください。

5. インストールします。

ノードが起動してインストール画面が表示されたら、コンソール接続画面に表示される指示に従って インストールを行います。

kickstartファイルを準備した場合は自動的にインストールが行われます。

6. ノードを再起動します。インストールを行ったノードの電源を OFF にし、再度 ON にします。

ノードを再起動するには、Web GUI の [Power Control] 画面で [Power Control] に [reset] を指定しま す。[Boot Script Number] には「00h」を指定します。

詳細は、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)の 「3.3 Power Control」を参照してください。

3.17.2 OSドライバのインストール手順

ここでは、FX700ハードウェア向けOSドライバの適用手順を記載します。

BMCドライバは、基本的な動作(例えばノードon/off)に必要です。 CPU-MEM-RASドライバは、CPUおよびメモリの故障検出に必要です。

ドライバのRPMファイルはオンラインで入手できます。 日本の場合 https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/supercomputer/downloads/ 海外の場合 https://www.fujitsu.com/global/products/computing/servers/supercomputer/documents/ **備考** ドライバのパッケージ版数は、OSの版数によって異なります。

- (1) BMCドライバ RPMファイル: FJSVxosbmc-xxxxx.aarch64.rpm
- (2) CPU-MEM RAS ドライバRPMファイル: FJSVxoscpuras-xxxxx.aarch64.rpm

以下の手順は、FX700ノードにドライバのサポート対象のOS がインストールされ、ドライバのサポート 対象のカーネルが適用されていることを前提としています。

1. FX700ノードに電源投入し、OSを起動します。

『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)の「3.3 Power Control」を参照してください。

2. OSドライバ用RPMファイルを転送します。

scpコマンドなどを用いて、(1)~(2)のRPMファイルをFX700ノード上に転送してください。以下では、FX700ノード上の/SOMEWHEREディレクトリ配下に2つのファイルが転送されたものとしています。

3. RPMファイルを適用します。

FX700ノード上で、yumコマンドによりRPMファイルを適用してください。

```
# yum -y install /SOMEWHERE/FJSVxosbmc-x.x.x-xx.xxx.aarch64.rpm
# yum -y install /SOMEWHERE/FJSVxoscpuras-x.x.x-xx.xaarch64.rpm
```

4. 設定を反映します。

FX700ノード上で以下のコマンドを実行し、FX700ノードを再起動してください。

shutdown -r now

- 5. インストール状態を確認します。
 - (1) BMCドライバ

```
systemdサービス"FJSVxosbmc"の状態がactiveであれば、インストールは正常に完了しています。
```

systemctl status FJSVxosbmc

```
(2) CPU-MEM RASドライバ
systemdサービス" FJSVxoscpuras"の状態がactiveであれば、インストールは正常に完了してい
ます。
```

```
# systemctl status FJSVxoscpuras
```

3.18 InfiniBandドライバのインストール

InfiniBandドライバ(Mellanox OFED)とインストール手順はオンラインで入手できます。 日本の場合 https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/supercomputer/downloads/ 海外の場合 https://www.fujitsu.com/global/products/computing/servers/supercomputer/documents/

```
<u>へ</u>注意
ドライバは、上記サイトに明記しているバージョンのみサポートします。
```

第4章 操作

この章では、FX700本体装置の操作について説明します。 「第2章 注意事項」の記載事項に留意してご使用ください。

4.1 電源のオン/オフ

ここでは、電源をオン/オフする方法を説明します。

▲注意

指定された温度条件の範囲内で電源を入れてください。動作環境の詳細は、「3.2 設置諸元」を参照してください。指定された温度範囲内で使用しないと、動作が異常になったり、データが失われたりする可能性があります。装置を動作保証温度範囲外で使用した場合に破損や故障が発生しても、弊社は一切の責任を負いません。

- ボタンを押して、電源を入れたり切ったりします。
- 短押しで、全ノードの電源をオンにします(装置内の全ノードがオフ状態の場合のみ有効)。
- 長押し(4秒以上)で、全ノードのオペレーティングシステムのシャットダウンを開始します。

4.1.1 FX700本体装置のAC電源オン/オフ

FX700本体装置のAC電源をオンにする

主電源に接続すると、PSU status LEDが緑色に点滅します。 ノードの電源をオンできる状態になるまで約4分かかります。この間BMC Ready LEDは点滅状態となり ます。ノードの電源をオンできる状態になると、BMC Ready LEDが点灯状態となります。

FX700本体装置のAC電源をオフにする

PSU status LEDが緑色に点滅していることを確認し、電源ケーブルを抜きます。

4.1.2 ノードの電源状態を変更する

運用管理ソフトを使用している場合には、ご使用の運用管理ソフトのマニュアルに従ってください。 運用管理ソフトを使用しない場合の、ノードの電源オン/オフの手順は、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)の「3.3 Power Control」を参照してください。

⚠注意

データ損失

電源が自動的に切断されない場合、電源ボタンを4秒以上押したままにすると、シャットダウンで きます。ただし、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091) の「3.3 Power Control」の手順に従って、適切にシャットダウンをしないと、データ損失のおそ れがあります。

4.2 シャーシの取外し

4.2.1 ラックからシャーシを取り外す

ここでは、ラックからシャーシを取り外す手順を説明します。

▲注意

- シャーシをラックから取り外す前に、すべてのユニットを取り外してください。 各ユニットの取外し方法は、「3.9.2 ブレードをシャーシから取り外す」「3.10.2 PSUをシャー シから取り外す」、「3.13.2 FANUをシャーシから取り外す」、および「3.11.2 ダミーブレードを シャーシから取り外す」を参照してください。

- シャーシをラックから取り外す際には、2人以上で作業してください。
- 1. 背面板金を取り外します。



2. つまみネジ2か所を外します。



図 4.2 つまみネジを外す

3. シャーシをラックから取り外します。




4.3 FX700本体装置の手入れ

<u>∧注意</u>

- FX700本体装置の電源を切り、適切に接地されたコンセントから電源プラグを抜いてください。 - 内部部品はご自身でお手入れせず、サービス技術担当者にご依頼ください。
- 研削材を含む洗浄剤、またはプラスチックを腐食させる可能性のある洗浄剤は使用しないでくだ さい。
- 液体がシステムに入らないようにしてください。FX700本体装置の換気領域はきれいにしてください。
- クリーニング用スプレーは使用しないでください(可燃性タイプを含む)。デバイスの故障または 出火の原因となります。
- FX700本体装置のお手入れは、乾いた布で拭いてください。特に汚れがひどい場合は、薄めた家 庭用洗剤で湿らせてしっかり絞った布を使ってください。

第5章 トラブル時の情報採取

この章では、トラブル時に採取するログについて説明します。

5.1 ログ(スナップショット)採取手順

詳細な調査が必要な場合は、ハードウェアのトラブル発生時に以下の手順を実行し、スナップショットを 採取して送信します。

- 1. Web GUIにログインします。
- 2. ナビゲーションバーから [System Event Logs] を選択します。
- 3. [Snapshot Files] の右下にある [Collect] ボタンをクリックします。
- 4. [Collect Settings] 画面で採取条件を設定し、[Collect] ボタンをクリックします。
 - [Type]: [Partial] または [Full] を選択します。
 - [Encrypt]:ファイルの暗号化を有効にする場合は、[Enable] チェックボックスをオンにします。
 - [Encrypt Key] : [Encrypt] チェックボックスをオンにした場合は、フィールドに暗号化キーを入力し ます。
- 5. 以下のメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックして、スナップショットの採取を開始します。



図 5.1 メッセージの表示

採取が完了すると、[Snapshot Files] に新しいファイルが登録されます。 参考

- ファイル番号は、[Snapshot Files]の[No.]に対応します。

6. 採取したファイルの名前をクリックし、任意のフォルダに保存します。

5.2 ハードウェアのトラブル

アラームLEDが点滅または点灯している場合は、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 アップグレード&メンテナンスマニュアル』(C120-0090)に従い、保守を計画してください。

5.3 OSドライバ関連の問題

OSドライバに関連したトラブルの対処方法を説明します。

5.3.1 保守のための採取情報

OSドライバに関連したトラブルが発生した場合は、以下の情報を採取してください。

■ OSドライバ共通

- OSのメモリダンプ

運用管理ソフトを使用している場合には、ご使用の運用管理ソフトのマニュアルに従ってください。 運用管理ソフトを使用していない場合は、BMC Web GUIの"Power Control"によるOSダンプ採取指 示により採取してください。

詳細は『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)の 「3.3 Power Control」を参照してください。

- sosreport

FX700システムのノードのsosreportファイルを採取します。 手順について詳しくは、Red Hat, Inc.のホームページを参照してください。

BMCドライバの場合は、追加で以下の情報を採取してください。

■ BMCドライバ

- ノード上のファイル/var/opt/FJSVxos/bmc/log/common
- ノード上のファイル/var/opt/FJSVxos/bmc/log/ipmi_message

5.4 その他トラブル

5.4.1 BMC management LANポートおよびBMC service LANポートの両 方をDisableにした場合

BMC management LANポートおよびBMC service LANポートの両方をDisableにした場合、LAN接続ができません。また、IPアドレスは初期化されます。 LANポートをEnableにする手順を以下に示します。

- 1. [BMC reset button] を長押しします。(もしくはAC OFF→ON)
 - BMC management LANポートおよびBMC service LANポートの両方を「Disable」状態でBMC電源 投入することで、LANポートは「Enable」状態となります。
- 2. BMC management LANおよびBMC service LANの両方のIPアドレスを設定します。

5.4.2 ノードコンソールがハングアップした場合

コンソールが正常終了できなかった場合、コンソールがハングアップすることがあります。 コンソール上のプロセスをすべてkillしてコンソールを開放してください。 以下に復旧手段例を示します。

1. rootユーザーでハングアップが発生しているノードにsshログインします。

\$ ssh -l root [host**名**]

2. コンソール上で動作しているプロセスの PID を特定します。

```
[root@xxxx ~]# ps -ef | grep ttyAMA0
root 2942 2904 0 23:48 ttyAMA0 00:00:00 -bash
root 3019 2942 0 23:56 ttyAMA0 00:00:00 cat large-file
[root@xxxx ~]#
```

3. 動作中のプロセスを kill します。

```
[root@xxxx ~]# kill -9 3019
[root@xxxx ~]#
```

4. コンソールで利用している bash のプロセスを kill します。

```
[root@xxxx ~]# kill -9 2942
[root@xxxx ~]#
```

5. コンソールで利用している bash の親プロセスを kill します。

```
[root@xxxx ~]# kill -9 2904
[root@xxxx ~]#
```

5.4.3 コマンド使用上の注意事項

不正な文字を入力した場合、ノードの電源がオフになり、Web GUI画面の [Node] が [Reserved] 表示とな ります。 [Reserved] 表示を解除するには、AC OFF→ONを実施してください。

. .

5.4.4 PSU減設における注意事項

Warm Maintenance中に減設し、Exit Maintenanceすると本体はSystem alarm LED点滅、Web GUI画面で Chassisは、Warning表示となりますが、継続使用可能です。 Warning表示/LED点灯を解除するには、AC OFF→ONを実施してください。

5.4.5 Web GUI使用上の注意事項

同一PCからの複数アクセスは未サポートです。複数アクセスすると以下のメッセージが表示されます。 メッセージが表示された場合は、セッションを閉じてください。



図 5.2 Webページからのメッセージ

第6章 技術仕様

この章では、FX本体装置、シャーシ、ブレード、PSU、およびFANUの仕様を説明しています。 注意

- FX700本体装置の仕様は、通告なしに更新されることがあります。ご了承ください。

6.1 FX700本体装置の仕様

FX700本体装置のデータシートには、詳しい技術仕様が記載されています。データシートは、オンライン で提供されています。

- 日本の場合

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/supercomputer/downloads/

- 海外の場合 https://www.fujitsu.com/global/products/computing/servers/supercomputer/documents/

	名称	A64FX™
CPU	命令セットアーキテクチャー	Armv8.2-A SVE
	演算コア数	48⊐ <i>7</i>
	クロック	1.8 GHz または2.0GHz
	理論演算性能	2.7648 TFLOPS または3.072 TFLOPS(倍精度)
ノード	アーキテクチャー	1 CPU/ノード
	メモリ容量	32 GiB(HBM2, 4スタック)
	メモリバンド幅	1,024 GB/s
	インターコネクト(オプション	InfiniBand EDR/HDR100(PCIスロット, PCIe Gen3 16Iane)
	設定)	
	内蔵ストレージ(オプション設定)	M.2 SSD type2280 (PCIe Gen3 4lane, NVMe)
本体装置	フォームファクタ	2Uラックマウントシャーシ
	最大ノード数	8ノード/シャーシ
	冷却方式	空冷
	PSU(冗長はオプション設定)	2+1冗長
		入力電圧:200~240 VAC±10 %、単相
		入力周波数:50/60 Hz±3 Hz
		効率:80 PLUS PLATINUM
	FANU	7+1冗長

表 6.1 FX700本体装置諸元

付録 A BMCドライバのメッセージ

BMCドライバに不具合等が検出された場合に、オペレーティングシステムに出力されるメッセージを以下に示します。

エラーメッセージ

[ERR.] xos BMC 0001 - 内部情報 Invalid parameter and command.[CODE]

意味

コマンドおよびパラメーターとして不正なデータが指定されました。

CODE: IPMIコマンドコード

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0002 - 内部情報 Invalid parameter. File Name Size:[NAME] Data Size:[DATA] Name:[PTR1] Data:[PTR2]

意味

緊急ダンプ要求のパラメーターとして不正な値が指定されました。
 NAME: ファイル名サイズ
 DATA: データサイズ
 PTR1: ファイル名格納域のポインタ
 PTR2: データ格納域のポインタ
 対処
 「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保
 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0003 - 内部情報 Invalid parameter. [TYPE/(NULL)]

意味

入力パラメーターとして不正な値が指定されました。

TYPE: ステータス状態コード

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0004 - 内部情報 Invalid parameter. Info:[PTR] Size:[SIZE]

意味

ステータス制御要求のパラメーターとして不正な値が指定されました。 *PTR*: エラーログ格納領域のポインタ *SIZE*: エラーログサイズ

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。 [ERR.] xos BMC 0005 - 内部情報 Detected an internal error of the IPMI command. [CODE] 意味

```
内部エラーのためコマンドが実行できません。
```

CODE: IPMIコマンドコード

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0006 - 内部情報 Detected hard error. [CODE]

意味

BMCからハードエラーの応答を受け取りました。 *CODE*: IPMIコマンドコード

対処

ハードウェア故障の疑いがあります。「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力 されたメッセージをあわせて担当保守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0007 - 内部情報 BMC could not allocate enough memory requested. [CODE]

意味

BMCから要求サイズ領域確保不可の応答を受け取りました。

CODE: IPMIコマンドコード

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0008 - 内部情報 Failed to create a log file for developers.

意味

開発者向けログファイルの生成に失敗し、BMCドライバの初期化が失敗しました。 対処 「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0009 - 内部情報 Failed to create a log file for IPMI messages.

意味

IPMIメッセージログファイルの生成に失敗し、BMCドライバの初期化が失敗しました。 **対処**

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0010 - 内部情報 Command time out. [CODE]

意味

コマンド発行後の完了待ちタイムアウトが発生しました。 CODE: IPMIコマンドコード

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0011 - 内部情報 Unable to get device number.

意味

char型デバイス番号の取得に失敗しました。

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0012 - 内部情報 Unable to allocate device file.

意味

char型デバイスの確保に失敗しました。 対処 「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0013 - 内部情報 Unable to register device file.

意味

char型デバイスの登録に失敗しました。 **対処** 「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0014 - 内部情報 Unable to register the interrupt handler.

意味

BMCドライバの割り込み処理登録に失敗しました。 **対処**

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0015 - 内部情報 Base address is missing. Address [VALUE]

意味

RAM のベースアドレスが異常値です。

VALUE: 異常となったベースアドレス

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0016 - 内部情報 Failed to run the shutdown command. [VALUE].

意味

OSへの Shutdown コマンド要求が失敗しました。

VALUE: 実行結果

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0017 - 内部情報 Requested an unsupported command. [VALUE]

意味

不明な ioctl が要求されました。

VALUE: 要求された ioctl の値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保

守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0018 - 内部情報 Could not Create procfs entry.

意味

```
procファイルエントリの作成に失敗しました。
対処
「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保
守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。
```

[ERR.] xos BMC 0019 - 内部情報 Could not Create procfs parameter entry. [PARAM]

意味

procファイルの作成に失敗しました。

PARAM: 作成対象パラメーターファイル

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0020 - 内部情報 Taking the user data failed. size [SIZE]

意味

ユーザーからの要求データの読み込みに失敗しました。 SIZE: 読み込みに失敗したデータサイズ

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0021 - 内部情報 BMC driver is not ready. [CODE]

意味

BMCドライバはロード中、または、ロードに失敗したため、コマンドを受け付けられません。 *CODE*: IPMIコマンドコード

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0022 - 内部情報 An unexpected error occurred. [CODE]

意味

BMC から予期せぬエラーの応答を受け取りました *CODE*: IPMIコマンドコード

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0023 - 内部情報 The I/O error occurred. [CODE]

意味

BMCよりIOエラーの応答を受け取りました。

CODE: IPMIコマンドコード

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。 [ERR.] xos BMC 0024 - 内部情報 BMC is not ready to accept the command. [CODE]

意味

BMCはコマンドを受け付ける準備ができていません。 *CODE*: IPMIコマンドコード

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0025 - 内部情報 Failed to create work queue.

意味

キューの生成に失敗しました。 対処 「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0026 - 内部情報 Failed to initialize IPMI driver.

意味

IPMIの初期化に失敗しました。 対処 「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0030 - 内部情報 Invalid parameter. name_flag [VALUE]

意味

入力パラメーターとして不正な値が指定されました。

VALUE: 設定された name_flag の値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0031 - 内部情報 Invalid parameter. data_flag [VALUE]

意味

入力パラメーターとして不正な値が指定されました。

VALUE: 設定された data_flag の値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

[ERR.] xos BMC 0032 - 内部情報 Invalid parameter. wait_flag [VALUE]

意味

入力パラメーターとして不正な値が指定されました。

VALUE: 設定された wait_flag の値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社Support Deskに連絡してください。

情報メッセージ

```
[INFO] xos BMC 1001 - 内部情報 System status Report. (Panic)
```

意味

システム状態が Panic 状態になりました。 **対処** 対処不要です。

[INFO] xos BMC 1002 - 内部情報 System status Report. (Shutdown start)

意味

システム状態が Shutdown start 状態になりました。 **対処** 対処不要です。

[INFO] xos BMC 1003 - 内部情報 System status Report. (System Running)

意味

システム状態が System Running 状態になりました。 **対処** 対処不要です。

[INFO] xos BMC 1004 - 内部情報 Shut down the system by the Shutdown notification.

```
意味
Shutdown 通知 を受けて電源を停止します。
対処
対処不要です。
```

[INFO] xos BMC 1005 - 内部情報 Copyright(c) 2018 FUJITSU LIMITED All rights reserved.

意味 BMC K

BMCドライバの copyright を表示します。 **対処** 対処不要です。

[INFO] xos BMC 1006 - 内部情報 BMC driver VERSION: DATE

意味

BMCドライバのバージョンとビルド日付を表示します。 *VERSION*: バージョン *DATE*: ビルド日付 **対処** 対処不要です。

[INFO] xos BMC 1007 - 内部情報 Started the notification of trouble information.

```
意味
故障情報通知処理を開始しました。
対処
対処不要です。
```

[INFO] xos BMC 1008 - 内部情報 Started the Emergency dump.

意味 緊急ダンプ要求を開始しました。 **対処** 対処不要です。

[INFO] xos BMC 1009 - 内部情報 Started loading BMC driver.

```
意味
BMCドライバをロードします。
対処
対処不要です。
```

[INFO] xos BMC 1010 - 内部情報 Started the notification of State notification.

```
意味
ステータス制御を開始しました。
対処
対処不要です。
```

[INFO] xos BMC 1011 - 内部情報 Command Busy. Another command is executing. [CODE] 意味

```
他のコマンドを実行しているため Busy 状態です。
CODE: IPMIコマンドコード
対処
対処不要です。
```

[INFO] xos BMC 1012 - 内部情報 Could not accept the execution of the command under kill termination. [CODE]

意味

```
kill による強制終了処理中のためコマンドが実行できません。
CODE: IPMIコマンドコード
対処
対処不要です。
```

[INFO] xos BMC 1013 - 内部情報 Command was killed. [CODE]

```
意味
コマンドが KILL されました。
CODE: IPMIコマンドコード
対処
対処不要です。
```

[INFO] xos BMC 1014 - 内部情報 Started unloading BMC driver.

```
意味
BMCドライバをアンロードします。
対処
対処不要です。
```

付録 B CPU-MEM-RASドライバのメッセージ

CPU-MEM-RASドライバに不具合等が検出された場合に、オペレーティングシステムに出力されるメッセージを以下に示します。

エラーメッセージ

[ERR.] xos RAS 0000 - 内部情報 Failed to register HOST SOFTWARE ERROR virq.

意味

HOST SOFTWARE ERRORの論理割り込み番号の登録に失敗しました。

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0001 - 内部情報 HOST SOFTWARE ERROR request_irq failed. (ERR1)

意味

HOST SOFTWARE ERROR 用の割り込みハンドラーの登録に失敗しました。 ERR1:割り込みハンドラー登録関数のエラーコード

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0002 - 内部情報 Failed to register GUEST SOFTWARE ERROR virq.

意味

GUEST SOFTWARE ERROR の論理割り込み番号の登録に失敗しました。 対処 「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0003 - 内部情報 GUEST SOFTWARE ERROR request_irq failed. (ERR1)

意味

GUEST SOFTWARE ERROR 用の割り込みハンドラーの登録に失敗しました。 ERR1:割り込みハンドラー登録関数のエラーコード

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0004 - 内部情報 acpi_register_gsi() failed. ret=ERR1

意味

論理割り込み番号の登録に失敗しました。

ERR1: 論理割り込み番号登録関数のエラーコード

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。 [ERR.] xos RAS 0005 - 内部情報 ioremap failed for GICv3_GICD.

意味

GICv3 Distributor (GICD) 領域へのメモリマップに失敗しました。

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0006 - 内部情報 ioremap failed for GICv3_ITS_CNTL_REG.

意味

GICv3 Distributor (ITS) 領域へのメモリマップに失敗しました。 対処 「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0007 -*內部情報* register_ras_handler failed, since the handler has already been registered.

意味

すでに RAS ハンドラーは登録済みです。または、RAS ハンドラーの登録に失敗しました。 対処 「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0008 - 内部情報 ITS HOST SOFTWARE ERROR detected. GITS_FJ_ITS_ERROR_ STATUS=DATA1

意味

ITS 設定契機の HOST SOFTWARE ERROR が検出されました。

DATA1: ITS のエラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0009 - 内部情報 ICC HOST SOFTWARE ERROR detected. GICD_FJ_ICC_ERROR_ STATUS=DATA1

意味

ICC 設定契機の HOST SOFTWARE ERROR が検出されました。

DATA1: ICC のエラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0010 - 内部情報 ICH ICV GUEST SOFTWARE ERROR detected. GICD_FJ_ICH_ ICV_ERROR_STATUS=DATA1

意味

ICH または ICV 設定起因の GUEST SOFTWARE ERROR が検出されました。

DATA1: ICH_ICV のエラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0011 - 内部情報 Uncorrectable Error RAW L1 detected.

意味

L1 キャッシュ上で Error Mark されていない raw UE が検出されました。

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0012 - 内部情報 Uncorrectable Error RAW L2 detected.

意味

L2 キャッシュ上で Error Mark されていない raw UE が検出されました。 対処 「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0013 - 内部情報 Clearing ERR0STATUS.UE failed. ERR0STATUS=DATA1 -> DATA2

意味

エラーステータスレジスタの未訂正エラービットのクリアに失敗しました。

DATA1: クリア前のエラーステータスレジスタの値

DATA2: クリア後のエラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0014 - 内部情報 Clearing valid bit failed. ERR0STATUS=DATA1 -> DATA2 -> DATA3

意味

エラーステータスレジスタの有効ビットのクリアに失敗しました。 DATA1: クリア前のエラーステータスレジスタの値 DATA2: 未訂正エラービットのクリア後のエラーステータスレジスタの値 DATA3: 有効ビットのクリア後のエラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0015 - 内部情報 Assertion failure detected. esr=DATA1 ERR0STATUS=DATA2

意味

コア内のデータパス系 (演算器など) でエラーが検出されました。 DATA1: ESR レジスタの値 DATA2: エラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0016 - 内部情報 Internal data path detected. esr=DATA1 ERR0STATUS=DATA2 意味

IMPLEMENTATION DEFINED エラーの報告対象外であるレジスタでエラーが検出されました。 DATA1: ESR レジスタの値 DATA2: エラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0017 - 内部情報 Internal control register detected. esr=DATA1 ERR0STATUS=DATA2

意味

未定義のエラーが検出されました。 DATA1: ESR レジスタの値 DATA2: エラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0018 - 内部情報 DG L1 TLB detected. esr=DATA1 ERR0STATUS=DATA2

意味

L1I キャッシュ、L1D キャッシュ、または TLB のどれか 1つ以上が縮退されました。

DATA1: ESR レジスタの値

DATA2: エラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0019 - 内部情報 DG L2 detected. esr=DATA1 ERR0STATUS=DATA2

意味

L2 キャッシュが縮退されました。 DATA1: ESR レジスタの値 DATA2: エラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0020 - 内部情報 Uncorrectable Address Error (Store) detected. esr=DATA1 ERR0STATUS=DATA2

意味

メモリアクセス誤り (Store) によるエラーが検出されました。 DATA1: ESR レジスタの値 DATA2: エラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0021 -*內部情報* GPR, SP register error detected. esr=DATA1 ERR0STATUS=DATA2

意味

GPR、Stackpointer で Parity Error が検出されました。 DATA1: ESR レジスタの値 DATA2: エラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0022 - 内部情報 FP&SIMD, vector, predicate register error detected. esr=DATA1 **ERR0STATUS=DATA2**

意味

FP&SIMD register で Parity Error が検出されました。 DATA1: ESR レジスタの値

DATA2: エラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0023 - 内部情報 Invalid error code or type detected when SError occurred. esr=DATA1 ERR0STATUS=DATA2

意味

SError が発生しました。 不正なエラーコードまたはエラータイプでした。 DATA1: ESR レジスタの値 DATA2: エラーステータスレジスタの値 対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0024 - 内部情報 MARKED UE detected. esr=DATA1 ERR0STATUS=DATA2

意味

Error Marking されたデータが使用されました。 DATA1: ESR レジスタの値 DATA2: エラーステータスレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0025 - 内部情報 Uncorrectable Address Error(Load, Instruction access) detected. esr=DATA1 ERR0STATUS=DATA2

意味

メモリアクセス (Load, Instruction access)の誤りによるエラーが検出されました。 DATA1: ESR レジスタの値 DATA2: エラーステータスレジスタの値

対処

```
「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保
守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。
```

[ERR.] xos RAS 0026 - 内部情報 A pending error was not detected even though an interrupt was received. GICD_FJ_GIC_HOST_SOFTWARE_ERROR_PENDING=DATA1

意味

割り込みが受信されてもペンディング中のエラーは検出されませんでした。

DATA1: エラーペンディングレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0027 - 内部情報 HOST SOFTWARE ERROR detected. GICD FJ GIC HOST SOFTWARE_ERROR_PENDING=DATA1

意味

HOST SOFTWARE ERROR が検出されました。

DATA1: エラーペンディングレジスタの値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0028 - 内部情報 Invalid error code or type detected when memory abort occurred. esr=DATA1 ERR0STATUS=DATA2

意味

memory abort が発生しました。 不正なエラーコードまたはエラータイプでした。 DATA1: ESR レジスタの値 DATA2: エラーステータスレジスタの値 対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0029 - 内部情報 Failed to detect the error. [DATA1]

意味

エラーの検出に失敗しました。 DATA1: エラーの検出に失敗した関数名

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0030 - 内部情報 Failed to hook the function. [DATA1] (ret=DATA2)

意味

エラー検出関数のフックに失敗しました。

DATA1: フック対象の関数名

DATA2: フック関数の戻り値

対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保 守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

[ERR.] xos RAS 0031 - 内部情報 Failed to create workqueue to suppress Uncorrectable Address Error (Store) log.

意味

Uncorrectable Address Error (Store)のログを抑止するためのワークキューの作成に失敗しました。 対処

「5.3.1 保守のための採取情報」に従って調査資料を採取し、出力されたメッセージをあわせて担当保

守員 (SE)、または当社 Support Desk に連絡してください。

情報メッセージ

[INFO] xos RAS 0000 - 内部情報 No need to clear ERR0STATUS register.

意味 エラーステータスレジスタのクリアは不要でした。 **対処** 対処不要です。

